

西南学院の 平和宣言の現代的意義について

戦争責任をどうとらえたのか

学校法人西南学院は創立 100 周年にあたり、「平和宣言－西南学院の戦争責任・戦後責任の告白を踏まえて」を發表しました。宣言が構想された背景には、安倍政権が進める立憲主義の否定や安保関連法制定への危機感がありました。



宣言の意義は、先の戦争に関する学院の加害責任に触れていること、そして、宣言が学院内の教職員による議論を重ねるなかで合意されたことです。

宣言の發表に至るまで最初から深く関与された同大学の松見俊（まつみ・たかし）教授に話をうかがいます。

質問、意見交換の時間も設けます。皆さまのご参加をお待ちしております。

講 師 松見 俊さん

西南学院大学神学部教授

と き 2017年1月14日（土）午後2時から

ところ ももち文化センター 特別会議室

福岡市早良区百道2丁目3-15（地下鉄藤崎駅下車、徒歩1分）
電話 092-851-4511

主 催 福岡県大学関係者・研究者日本共産党後援会

問い合わせ先 貫橋（しめはし） 0942-32-5004
民主青年同盟福岡県委員会